

「オキロボ」との旅

学校法人尚学学園沖縄尚学高等学校附属中学校

1年生 平良 采子

今年のゴールデンウィークは、元号が変わるため祝日が増え、十連休というこれまでにない長い連休となりました。私の家でも「せっかくの長い休みだし、どこかへ旅行しようか」と話題になりました。そこで、インターネットで調べようと画面を見ると、ネットニュースのトップ記事に「今年の連休は沖縄が大人気」と、取り上げられていました。慌てて各航空会社の予約状況を見ると、那覇入りする飛行機がすでに満席状態でした。みんな何を目的に沖縄へ来るんだろう。住んでいる私には気づかないことでもあるのかな。と、不思議に思い、沖縄の観光雑誌を開いてみました。すると、「真っ白な砂浜にどこまでも透き通ったエメラルドグリーン的大海」「異国情緒あふれる伝統文化」などと沖縄を魅力的に紹介していました。しかし、私自身「地名は知っている」「行ったことはある」でもこの沖縄の歴史や文化を県外や海外の人々に説明できるほど詳しくありません。パンフレットを読んでもなんとなくしかわかりません。その場所に行くのでさえ、カーナビを使ってどうにかたどりつくのが現状です。「沖縄に住んでいる私でも面倒なのだから、観光客にとってはもっと不便さを感じているにちがいない。」そこで私がこうなると安心して楽しいなと考えるアイデアを提案したいと思います。その名もAI コンシェルジュ、通称「オキロボ」との旅です。県内全ての観光産業がネットワークでつながり、このオキロボでアクセスすることができるサービスです。近年、AI が医療分野や交通業界、電子ペットなどにも導入され、急速に発展しています。実際に長崎県にあるハウステンボスには、ロボットが接客するホテルがあるほどです。

私は、この優れたAIの技術を使って、ヤンバルクイナやマンタ、ジンベイザメなど、愛着がわく姿をしたロボットが、コンシェルジュとなって、一緒に旅のお供をするサービスを沖縄で展開することを考えました。

オキロボは自分の好きな型やサイズが選べ、名前も自由につける事ができます。空港で受け取り、お気に入りのオキロボを連れて出発すると、道案内機能がついているので、車やバスなどでも、迷うことなく目的地にたどり着くことができます。駐車場の案内や混雑状況も、リアルタイムで、知らせてくれます。また、目的地に着くと、今度はオキロボがツアーガイドとなり、歴史や文化はもちろんのこと、ちょっとした豆知識や関連情報もわかりやすく説明してくれます。疑問や質問にもていねいに答えてくれたり、お手洗いなどの休けい所も案内してくれます。また、お腹がすいたといえば、オキロボが近くにある食べたいジャンルのお店を紹介し、予約も入れてくれます。立ち寄ったお店や施設には、現地オキロボがあり、スキャンするとそのお店の情報が全てわかるようになっています。各お店の支払いも、オキロボが電子マネーとなって利用でき、支払った金額に応じてポイントがもらえます。ポイン

トが貯まると、ホテルでエステやスパなどのリラクゼーションが受けられたり、沖縄体験ワークショップが無料で参加できたり、スーツケースなど大型荷物の宅配サービスが受けられたりします。

また、オキロボは、日本語だけでなく、多種多様の言語に対応でき、海外の方でも、言葉の通じない異国の土地で、通訳として大活躍します。オキロボがいると一目で観光客とわかるので、私達沖縄県民が気軽に声をかけることができます。「困っている事はないですか」この一声があるだけで、ほっとでき、人の暖かみを感じることができるのです。オキロボを通して交流が生まれ、一期一会のステキな出会いとなる事でしょう。

さらに、私自身が旅行中にいつもとまどう事があります。それはゴミの分別です。地方公共団体によって分別の仕方が異なるので、これもオキロボが教えてくれたら便利だなと思います。

旅のお供として過ごしたオキロボとの別れは空港となり、自分の旅の思い出をデータ化して持ち帰る事ができます。再び、沖縄を訪れた時に、このデータをオキロボに差し込めば、前回の旅の続きから始める事ができます。この仕組みを取り入れることで、新規のお客様だけでなく、再度沖縄を訪れようと思うお客様もいて、リピーターが増えることでしょう。

これが、私が密かに考える、安心して楽しく充実した沖縄旅行のアイデアです。AI という最新技術と一緒に、快適な沖縄旅行を楽しんでもらいたいです。「一度はおいでよ沖縄」から「何度でも行きたくなる沖縄」へ、そんな魅力があるこの島の未来は太陽のようにサンサンと輝いていると私は信じています。